

4月のGlobal Sessionのお知らせ(339回目)

期日:2021年4月18日(日)10:30~12:00

場所:ガレリア2階 大広間

ゲスト:品田井サフワンさん

コーディネーター:募集中

参加費:600円(子どもさんは無料:いっしょにどうぞ・静かにあそぶ場所があります)

人数:20人まで(コロナ禍のため制限あり)

タイトル:APU(立命館アジア太平洋大学時代からのわたし)

APU(立命館アジア太平洋大学)時代のわたし

まず、APUはどんなところ？

立命館アジア太平洋大学、英語: Ritsumeikan Asia Pacific University)は、大分県別府市に本部を置く日本の私立大学です。2000年に設置された。大学の略称はAPU。基本理念に「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を掲げる。

The university has an enrollment of about 5,850, including approximately 2,900 domestic, and 2,900 international students (a 50-50 domestic-international ratio) originating from 90 countries and regions. Half of the 172 full-time faculty members are also foreign nationals who come from more than 30 countries and regions.

そもそもなぜAPUに来ることを決めたのか？

- ・世界中の小さな世界
- ・入学するまでの乗り道がはっきりしている。
- ・母国と日本との架け橋になる夢がいつか達成できそう。
- ・日本が大好き

What I had as an input before entering APU...

- ・新鮮な考え方
- ・ある程度授業を受けれる英語力
- ・片言日本語(ほぼ0)
- ・興味津々
- ・友達0人

What I have now as an output after graduation...

- ・独立した判断力
- ・国境を知らない競争力
- ・ネイティブに近い英語力
- ・ビジネスが出来る日本語力+@
- ・自発的に行動
- ・全世界に広がる友達マップ

Words that are still in my mind...

- バランス
- 信頼はリーダーシップの秘訣
- WE CAN DO IT
- 国境は頭の中だけ

ここに書ききれない詳しい話は Global Session で皆さんに語ります。

楽しみにしておいてください！

今後の予定

5 月 22 日(土)10:30~12:00 ガレリア 3 階 会議室

ゲスト:北神圭朗さん(2 回目)「アメリカでの多言語社会から日本へ」(仮題)

6 月村田英克さん:(3 回目)(JT 生命誌研究館スタッフ)

7 月濱田雅子さん:(20 回目)

『20 世紀アメリカの女性デザイナーの知られざる真実—ティナ・リーサの作品に見る
フェアトレードと持続可能性—』

8 月内田晴子さん:(世界人権問題研究センター研究員)

9 月玉野井麻利子さん:(3 回目)(アメリカ大学教授)

10 月:未定

11 月:濱田雅子さん

12 月:オジュグさん(ポーランド出身・大学教員)「ポーランドのクリスマス」(仮題)

Global Session は、だれかの話を聞くだけではなく、セッションです。

1999 年に亀岡交流活動センター(現:交流会館)で始まり、現在に至っています。

約束ごと:「当てない」「どこからセッションに入ってきてもいい」

連絡先:オフィス・コン・ジュント主宰:児嶋きよみ

e-mail:kiyomi-kojma @gaia.eonet.ne.jp